

－ 高槻さくらフォーラム －
高槻市議会議員 田村規子の **議会だより** 平成25年
初春

発行者：高槻市議会議員 田村規子 事務所/高槻市梶原1-10-6 TEL684-2220 FAX669-7588



高槻市議会議員

田村規子(たむらのりこ)

★昭和38年5月高槻市梶原生まれ(旧姓・長谷川規子)

★高槻市立五領小学校、五領中学校、ノートルダム女学院高校、京都ノートルダム女子大学卒業

★京都宝ヶ池プリンスホテルに5年間勤務

★社会保険労務士。

★平成23年高槻市議会議員に初当選。すべての市民が元気で明るく暮らせる、コミュニケーションあふれるまちづくりを目指して活動中。

12月議会

一般質問

新名神高速(仮称) 高槻インターによる 経済効果は?

平成24年11月30日より12月19日まで20日間の会期で平成24年第5回定例会が開かれました。



質問内容

本会議で「新名神インターチェンジ整備に伴う地域活性について」一般質問しました

田村規子

インター周辺の土地利用について市の素案を作るのか、それも含めて市の支援はどのように考えているのか。

都市創造部長

「本市の経済活力を高める都市づくりを目指す」という位置づけを踏まえ、地域全体として望ましい土地利用を地権者の方々が決定できるよう、本市としても地域のまちづくり活動を支援誘導していく考えです。

田村規子

インター整備による本市の経済効果はどのように考えているのか。また、インターを単なる通過点にしないために、観光や産業の分野も含め関係機関等との連携についての考えをお聞かせ下さい。

産業環境部長

交流人口の拡大、観光振興への寄与、物流の効率化、新たな産業立地や既存産業の活性化の促進、就業機会の増加などが効果としてあげられるものと考えられます。また、産業振興ビジョンの取組として「積極的なシティセールスの展開」を掲げており、企業誘致活動や観光資源の効果的な活用のため、道路事業者、周辺観光地等関係者との連携が重要と認識しています。

田村規子

インター整備により、慣れ親しんだ住まいを代わらざるをえなかったり、住まいは代わらなくとも、環境が変わる不安を抱えながら生活していく市民の方々も含め、すべての市民が本市にインターができて良かったと思えるように、決して単なる通過点とならないよう、関西の中央都市たかつきにふさわしいインター整備となるための努力を期待します。

放課後等デイサービス事業者の早期増加を!

福祉企業委員会で正しました

18歳までの障がい児に対して、放課後や夏休み等長期休暇中の居場所作りのために、平成24年4月より高槻市ではこの事業を開始し、12月現在5箇所で開催しています。国ではその設置を1中学校区に最低

1箇所以上としています。この事業は児童の自立を促進するためです。この事業者の開拓を市職員が行っています。児童発達支援事業もスタートし業務が増えているので、職員体制の充実と事業所の早期増加設置を要望しました。

市営バス企業の決算認定で決議が議員提案

田村規子が10月に決算審査特別委員を務めました平成23年度決算審査特別委員会の報告がされた後、平成23年度一般会計歳入歳出をはじめ、11の会計の決算がすべて認定されました。その中で、高槻市自動車運送事業(市営バス)の決算認定後、議員より決議を提出し、全会一致で可決

され、市営バス企業の運営について指摘をしました。

決議とは…地方公共団体の公益に関することに関して、議会の意思を意見としてまとめた文書のことです。

学童保育室の利用時間延長(平成25年4月より)の条例改正可決

平日

13時30分～19時(現在18時まで)

土曜日

8時30分～17時(現在8時45分から)

長期休暇期間

8時30分～19時(現在8時45分～18時)



©2011 Takatsuki City

平成25年4月から朝は15分間前倒しになり、夕方は18時から19時までが延長保育となります。

<参考>

高槻市の学童保育に係る児童一人当たりの運営費は、約238,000円(年間)となり、本市の予算からの歳出となります。(平成25年4月からの概算)

山形県東根市「さくらんぼタントクルセンター」委員会視察

福祉企業委員会委員他全13名で子育て支援事業に関して行政視察を行いました。中でも「さくらんぼタントクルセンター」には子どもの遊び場として、独自の巨大な遊具が室内に設置され、親子や友達同士で元気に遊ぶ姿を見ることができました。アスレチック的な要素も取り入れられており、体全身、そして頭も使った遊びを体験できます。平日では200～300名、休日の最大で1,000名が利用しています。

運営は指定管理者制度でNPOが行っていることも注目するところです。高槻市でも親子が安心して全身を使って遊べる公園等の検討の必要性も感じました。



児童発達支援事務所がカンガルーの森3階に開設

子育て総合支援センター「カンガルーの森」に児童発達支援事務所が開設されました。0～18歳未満の児童の発達に関する相談や、制度利用の案内、サービスの支給決定を行っています。最近の文科省調べによると、公立の小中学生に通う普通学級の児童生徒の6.5%に発達障がいの可能性があ

ることがわかりました。発達障がいの特徴は幼児期から現れますが、早い時期から周囲の理解が得られ、適切な療育につなぐことで、様々な能力を伸ばしていけます。児童発達支援事務所ではこの様な子どもと保護者のサポートをしていきます。

パスポートセンターが高槻市に開設!

パスポートの各種申請、交付を行う高槻市パスポートセンターが開設しました。場所はJR高槻駅南側のクロスパル高槻1階(総合市民交流センター)です。関西で初めての市設置のパスポートセンターで、大阪市まで行かずに申請・交付ができますのでとても便利になりました。

おかげさまで新しい年を迎えることができましたことに感謝致しております。また、日々の皆様の活動にも心より厚く御礼を申し上げます。2年近く議員活動をさせていただいておりますが、一番必要なものは市民の皆様の意見や思いをお聞かせいただくことです。それに基づき行政改革へつなげていくこととなります。高槻市をより良くするために、どんなことでも結構ですとお声をお聞かせくださいますようお願い致します。そのお声を受け止めしっかりと勉強して活動につなげてまいります所存でございます。寒さ厳しき折、ご自愛くださいますように。
(田村規子)